

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	日本留学海外拠点連携推進事業			担当部局庁	高等教育局		作成責任者
事業開始年度	平成26年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(国際担当)		参事官(国際担当) 小林洋介
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	「第3期教育振興基本計画」(平成30年6月15日閣議決定) 「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ<J-MIRAI>」 (教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日)		
政策	13 豊かな国際社会の構築に資する国際交流・協力の推進			主要経費	経済協力費		
施策	13-1 国際交流の推進						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-13_1.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	海外の重点地域に、日本留学の魅力を統合的に発信する拠点を設置するとともに、各海外拠点の取組を支援する日本本部を設置すること等によってオールジャパンの日本留学サポート体制の実現を図り、大学等での教育研究、卒業後の就職などのキャリアパスをはじめとした日本留学の魅力を統合的に発信することで、優秀な外国人留学生の国内就職促進に向けて我が国企業のニーズに応じた外国人留学生の受入れを促進する。						
現状・課題 (5行程度以内)	新型コロナウイルス感染症の拡大により、30万人を達成した外国人留学生の受入れは減少、上昇基調にあった日本人の海外留学者は激減した。各国が留学生獲得を戦略的・戦略的に進めている中であって、我が国は人的交流のコロナからの回復にすら遅れをとっている状況にある。日本としても優秀な留学生を戦略的に受け入れるためには、各国の学生をめぐる諸情報の収集・分析・リクルーティング戦略立案を強化しつつ、関係機関とも連携して受入れを一体的に促進する現地機能を強化することが求められている。 (独)日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査結果」 令和2年5月1日現在の留学生数:279,597人(前年比 32,617人(10.4%)減) 令和3年5月1日現在の留学生数:242,444人(前年比 37,153人(13.3%)減) 令和4年5月1日現在の留学生数:231,146人(前年比 11,298人(4.7%)減)						
事業概要 (5行程度以内)	重点地域のうち6地域に海外拠点を置き、現地及び日本の関係機関(政府機関、在外公館、教育機関、企業等)や日本本部と連携し、留学に関する情報収集・発信、優秀な留学生獲得に向けたリクルーティング活動促進等の取組を実施。 また、日本本部を設置し、日本国内の機関や各海外拠点と連携し、海外拠点設置地域の留学生動向に関する情報収集・分析、日本国内機関とのネットワーク構築、日本国内に在留している外国人留学生のネットワーク形成といった取組を実施。						
事業概要URL	-						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	450	450	450	395	542
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	450	450	450	395	542	
	執行額(G)		299	450	450		
	執行率(%) =(G)/(F)		66%	100%	100%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		66%	100%	100%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)		国際交流・協力推進費			※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。 ※令和4年度執行額については、一部、未確定のものがあるため、確定次第、修正予定。 ※重要政策推進枠 542百万円	
		(目)	政府開発援助外国人留学生受入推進事業委託費	367	542		
	(項)	(目)	国際交流・協力推進費				
		(目)	外国人留学生受入推進事業委託費	28			
			その他				
計(A)		395	542				

活動内容① (アクティビティ)		海外拠点を設置するとともに各拠点の取組を支援する日本本部を設置し、日本留学に関する情報収集・発信や優秀な留学生獲得に向けたリクルーティング活動促進等を実施することで、日本留学のサポート体制の実現を図る。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		現地の留学生に対し、日本留学の魅力等を伝える機会が増加	現地・オンラインにおける日本留学フェア及び留学説明会開催数 ※令和3年度以降はオンラインによる説明も計上。	活動実績	回	206	355	467	－	－
				当初見込み	回	106	222	323	318	318
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	効果発現の初期段階として、日本留学を志す学生及び日本の高等教育機関への進学を目指す外国人学生に対し、我が国の留学制度及び高等教育等に関する情報提供を行うことにより、日本留学の認知度向上及び日本への留学者数の増加につながると考え、短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		現地における日本留学フェア及び留学説明会への来場者数を増やす(各年度の目標値は前年度実績を上回る値とする)	現地・オンラインにおける日本留学フェア及び留学説明会への来場者数	成果実績	人	39,112	100,526	66,435	－	
				目標値	人	33,505	39,113	100,527	66,435	
				達成度	%	116.7	257	66.1	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		事業採択大学調べ ※令和3年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、現地開催のみならずオンライン開催による参加者数も合計した数値を記載している。								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ＜J-MIRAI＞」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日)において、外国人留学生の受入数 40万人を目指すことが提言されている。「リクルーティングから帰国後のフォローアップまで一貫した、オールジャパンの日本留学サポート体制」を実現することにより、日本への留学者数が増加し、当該目標の達成に寄与すると考えられるため、我が国が受け入れる外国人留学生数を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 15 年度	
		我が国が受け入れる外国人留学生数(各年度の目標値は前年度実績を上回る値とする)	我が国が受け入れる外国人留学生数	成果実績	人	279,597	242,444	231,146	－	
				目標値	人	312,214	279,597	242,444	380,000	
				達成度	%	89.6	86.7	95.3	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		＜成果実績＞ (独)日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」 ＜目標値の根拠＞ 「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ＜J-MIRAI＞」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日)								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容② (アクティビティ)		海外拠点を設置するとともに各拠点の取組を支援する日本本部を設置し、日本留学に関する情報収集・発信や優秀な留学生獲得に向けたリクルーティング活動促進等を実施することで、日本留学のサポート体制の実現を図る。								
↓										
活動目標及び活動実績② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		現地の留学生に対し、日本留学の魅力等を伝える機会が増加	現地・オンラインにおける日本留学フェア及び留学説明会開催数 ※令和3年度以降はオンラインによる説明も計上。	活動実績	回	206	355	467	－	－
				当初見込み	回	106	222	323	318	318
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	日本留学の魅力の伝達等を行う留学コーディネーターの配置国・地域においては、親日派・知日派の外国人留学生在籍数が増えることが見込まれるため、留学コーディネーター配置国・地域からの外国人留学生在籍数を倍増させることにより、外国人留学生在籍者のネットワーク形成及び、当該地域を中心とした日本への留学者数の増加が期待できると考え、短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		留学コーディネーター配置国・地域から我が国の外国人留学生在籍数を、事業開始前年度実績から倍増させる	留学コーディネーター配置国・地域からの外国人留学生在籍数	成果実績	人	123,601	100,957	69,191	－	
				目標値	人	104,814	113,900	104,995	113,900	
				達成度	%	117.9	88.6	65.9	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		(独)日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」								
↓	成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ＜J-MIRAI＞」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日)において、外国人留学生在籍数の受入数 40万人を目指すことが提言されている。「リクルーティングから帰国後のフォローアップまで一貫した、オールジャパンの日本留学サポート体制」を実現することにより、日本への留学者数が増加し、当該目標の達成に寄与すると考えられるため、我が国が受け入れる外国人留学生在籍数を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 15 年度	
		我が国が受け入れる外国人留学生在籍数(各年度の目標値は前年度実績を上回る値とする)	我が国が受け入れる外国人留学生在籍数	成果実績	人	279,597	242,444	231,146	－	
				目標値	人	312,214	279,597	242,444	380,000	
				達成度	%	89.6	86.7	95.3	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		＜成果実績＞ (独)日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」 ＜目標値の根拠＞ 「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ＜J-MIRAI＞」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日)								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容③ (アクティビティ)		海外拠点を設置するとともに各拠点の取組を支援する日本本部を設置し、日本留学に関する情報収集・発信や優秀な留学生獲得に向けたリクルーティング活動促進等を実施することで、日本留学のサポート体制の実現を図る。								
↓										
活動目標及び活動実績 ③ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		現地の留学生に対し、日本留学の魅力等を伝える機会が増加	現地・オンラインにおける日本留学フェア及び留学説明会開催数 ※令和3年度以降はオンラインによる説明も計上。	活動実績	回	206	355	467	－	－
				当初見込み	回	106	222	323	318	318
↓	成果目標③-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	効果発現の初期段階として、海外における日本留学試験の利用を促進するとともに、現地入試受験者数を増やすことにより、日本留学の認知度向上及び優秀な外国人留学生の受入れにつながることが期待できると考え、短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ③-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		日本の教育機関へ入学するための現地入試受験者数を増やす	日本の教育機関へ入学するための現地入試受験者数	成果実績	人	341	771	792	－	
				目標値	人	366	342	772	793	
				達成度	%	93.2	225.4	102.6	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		事業採択大学調べ (独)日本学生支援機構調べ								
↓	成果目標③-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ＜J-MIRAI＞」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日)において、外国人留学生の受入数 40万人を目指すことが提言されている。「リクルーティングから帰国後のフォローアップまで一貫した、オールジャパンの日本留学サポート体制」を実現することにより、日本への留学者数が増加し、当該目標の達成に寄与すると考えられるため、我が国が受け入れる外国人留学生数を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ③-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 15 年度	
		我が国が受け入れる外国人留学生数(各年度の目標値は前年度実績を上回る値とする)	我が国が受け入れる外国人留学生数	成果実績	人	279,597	242,444	231,146	－	
				目標値	人	312,214	279,597	242,444	380,000	
				達成度	%	89.6	86.7	95.3	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		＜成果実績＞ (独)日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」 ＜目標値の根拠＞ 「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ＜J-MIRAI＞」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日)								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ③について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ③についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

活動内容④ (アクティビティ)		海外拠点を設置するとともに各拠点の取組を支援する日本本部を設置し、日本留学に関する情報収集・発信や優秀な留学生獲得に向けたリクルーティング活動促進等を実施することで、日本留学のサポート体制の実現を図る。								
↓										
活動目標及び活動実績 ④ (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		日本の教育機関の現地における留学フェア及び留学生説明会への参加	日本の教育機関への現地事情説明会開催数	活動実績	回	35	74	62	－	－
				当初見込み	回	17	64	81	63	63
↓	成果目標④-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	新型コロナウイルス拡大の影響を受け、オンラインを活用した広報展開を中心に行っていたものの、政府の方針変更を踏まえ、日本の教育機関が対面形式で留学フェア及び留学説明会を開催する回数を増やすことにより、現地学生の参加数の増加及び日本留学の認知度向上、ひいては日本への留学者数の増加につながると考え、短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ④-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		現地における日本留学フェア及び留学説明会への本邦教育機関参加数を増やす(各年度の目標値は前年度実績を上回る値とする)	現地における日本留学フェア及び留学説明会への本邦教育機関参加数	成果実績	機関	452	663	826	－	
				目標値	機関	427	453	664	827	
				達成度	%	105.9	146.4	124.4	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		事業採択大学調べ * 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、現地開催のみならずオンラインによって日本留学フェア及び留学説明会を実施している。								
↓	成果目標④-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ＜J-MIRAI＞」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日)において、外国人留学生の受入数 40万人を目指すことが提言されている。「リクルーティングから帰国後のフォローアップまで一貫した、オールジャパンの日本留学サポート体制」を実現することにより、日本への留学者数が増加し、当該目標の達成に寄与すると考えられるため、我が国が受け入れる外国人留学生数を長期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ④-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 15 年度	
		我が国が受け入れる外国人留学生数(各年度の目標値は前年度実績を上回る値とする)	我が国が受け入れる外国人留学生数	成果実績	人	279,597	242,444	231,146	－	
				目標値	人	312,214	279,597	242,444	380,000	
				達成度	%	89.6	86.7	95.3	－	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		＜成果実績＞ (独)日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」 ＜目標値の根拠＞ 「未来を創造する若者の留学促進イニシアティブ＜J-MIRAI＞」(教育未来創造会議第二次提言)(令和5年4月27日)								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ④について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ④についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								

(※1) 令和4年度実績を記入。

(※2) 金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

(※3) 令和4年度の執行額()は、確定前の暫定的な額のため、確定次第、確定額へ修正予定。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

文部科学省
395百万円

〔本事業の選定委員会の審査・評価結果に基づき、委託先を決定するとともに、委託先に対して委託費を交付する。〕



委託【随意契約(その他)】

A.国立大学法人等(全6法人)
395百万円

〔日本留学の司令塔となる留学コーディネーターを配置し、在外公館や我が国の政府機関の海外事務所、各大学が設置する海外拠点との連携・協力を行うとともに、現地の大学及び高等学校のネットワークを構築する。〕

